

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和5年度神奈川県立相模原支援学校第3回学校運営協議会（第3回学校評価部会）	
開催日時	令和5年10月31日（火）13:45～16:00	
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 縫製室	
出席者	学校運営協議会委員7名、本校職員：事務局10名（内総括教諭7名）【欠席2名】	
次回開催予定日	令和6年2月27日（火）14:30～15:50（第2回切れ目ない支援部会 13:40～14:20）	
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 比留川はるか 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957	
掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過 【学校運営協議会（学校評価部会）】	<p>1 開会 本日の日程・配付資料の確認、会長・学校長挨拶</p> <p>2 報告</p> <p>(1)教育課程の改善について[事務局より現在の課題と改善に向けた具体案の資料説明]</p> <p>(2)切れ目ない支援部会について[事務局より活動報告と、にじいろループの内容を説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない支援部会は12月に開催予定だったが、諸事情によりコミ・スクレターで報告する。 <p>3 協議</p> <p>議題1 令和5年度の取組（中間評価）[事務局より説明]</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部の事例をモデルに教育課程を整理していく。ダイジェスト版を保護者に示したい。 ・防災安全班の福祉避難所マニュアルを改めて確認する。 ・学校ボランティアを学校HPで紹介するとボランティア拡大となるかもしれない。 ・一人一台iPadを活用するためにマニュアル作成と何ができるかアイデアを出していく段階 ・中間評価は取組の記述と取り組んできたことが達成されているかまだか整理することが大切。 ・下半期をどのように取り組むか、なんらかの形で中間評価に盛り込んでいく必要がある。 ・これまでの4年間についてまとめた資料は全職員に共有し、これからの4年間について考えた。 <p>議題2 令和6年度～令和9年度の目標について ※各資料をもとに説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部、中学部、高等部のつながりは、保護者アンケートを有意義にできたらよいのではないかと。 ・4年間に向けた話し合いについて教員の生の声、嘆願等、切実な思いが反映されていると感じた。これらをどのように学校の教育活動に結び付けていくかが大切である。保護者アンケートを生徒や地域にも実施できるとよい。また、実施方法を工夫して例えばQRコードを活用するとよい。 ・「協働」について県も力を入れており、相模原市のホームページに地域コーディネーターの取組に注力している公民館がいくつかある。 ・地域とともにというのが大きな要素として入っている。教員間で意見が出されているのが素晴らしい。我々もできる限り協力していきたい。一緒に取り組むという姿勢が大切である。 ・本校の学校運営協議会は、委員が皆自分事として捉えているところが素晴らしいと感じる。 ・高校にもミッションがある。しかし、このように活発に具体的に意見ができることはあまりない。働き方や業務改善については、各委員の方々の職場でのヒント、知恵、アイデアを参考にして、やりがいのある職場にしていきたい。 ・なぜ地域との協働が大切であるのか、今後皆で考えるため、時々話題にしていきたい。 ・県からのミッションは、これに従い取り組まなければならないということではなく、これを指標に考えるとよい。学校の独自性を踏まえ、どのように解釈するかが大切である。本校をどうしていきたいかを考える際、保護者、協議会の声を聞き、次の4年間について整理していくとよい。 ・保護者アンケートの「学校全般について」の部分のこれからの学校について、保護者の考えを記入いただけるようにしていきたい。その際は、これまでのことだけでなく、これからのについても記入いただけるよう作成していく。今後、12月いっぱいまでにご意見をいただけるとありがたい。 <p>4 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC相模原のキャラクター「ガミティ」の派遣の応募をしている。学校に呼んで、今後のギオンのボランティアに参加していただけるとよいのではと考える。ぜひご検討願いたい。 ・日程調整方法及び今後の予定等の確認 <p>5 閉会 会長・学校長挨拶</p>	